

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	バリアフリーの促進と職業訓練を通して、障害者の生活環境を改善し、就労の機会を増加させる。
(2) 事業内容	<p><u>(イ) 障害者向け多機能センターの建設と施設整備と職員の能力強化</u></p> <p>2012年4月より、ラオス障害者協会 (Lao Disabled People's Association、以下 LDPA) の活動拠点となる障害者向け多機能センターの建設をピエンチャン市内で開始した。工事期間と雨季が重なる時期があり、当初の予定より1ヵ月ほど遅れる見込みであるが、10月末には完成する予定である。建設期間中は、進捗状況確認のモニタリングに加えて、デザイン等についても LDPA および建設業者と定期的な協議を行っている。特に、同センター内に設置する予定であるバリアフリー環境促進コーナー (バリアフリー器具の見本や使い方の展示) や、センター内のトイレ・スロープ等の詳細について、訪問者が利用しやすいものになるよう、詳細を協議した。また、ピエンチャン市内には、車いすに対応したバス等の交通機関がないため、車いすを使用する障害者の移動手段は限られている。こうした障害者が同センターに通えるよう、送迎用車両 (トラック) を購入し、乗降のための取り外し式のスロープを製作した。</p> <p>LDPA の団体運営管理能力の強化のため、障害当事者でもある LDPA 職員 2 名 (男性、女性各 1 名) が当会ラオス事務所に常勤し、共同で事業を実施している。下記 (ハ) の職業訓練実施の際には、LDPA のネットワークを活用し、ピエンチャン市近郊の障害者グループや関連団体に呼びかけ、LDPA 職員が中心となって研修生の募集を行った。また、同職員の能力強化のため、本事業の計画書や報告書の作成等について、当会職員が指導している。</p> <p><u>(ロ) バリアフリー環境の普及</u></p> <p>ピエンチャン市内の 9 ヲ所の郡病院およびピエンチャン県ソムサヌック村 (ハンセン病感染者が多く住む村) の医療施設や公衆トイレ等のバリアフリー工事を行うため、各施設の関係者や利用者と、工事日程や工事内容、施工後の管理方法について協議を行った。</p> <p>8 月より、上記施設の工事を順次開始し、シーサタナック (Sisattanak) 病院及びサイセッター (Xaysetha) 病院のバリアフリー工事が完了した。これらの病院では、段差箇所へのスロープの取り付け、手すり付きトイレの導入工事を行った。尚、当初工事を予定していたシコタボン (Sikhottabong) 病院については、今後数年以内に建て替え工事が予定されていることが判明したため、本事業では、バリアフリー工事を実施せず、建て替え工事を実施する際に、当会及び LDPA がバリアフリーに関する助言や提案を行う予定である。</p> <p><u>(ハ) 障害者への職業訓練の提供</u></p> <p>ラオス農業省の植物保護センター (Plant Protection Center: PPC) と協力し、2 村 19 名の障害者を対象に 5 日間のキノコ (ヒラタケの一種) 栽培研修を 2 回実施した。研修生選定の際には、各障害者の自宅で当会職員と LDPA 職員が面接を行い、家庭の経済状況や家族構成、研修参加を希望する理由、研修後に栽培を続ける意思等を確認した。また、健常者 5 名 (障害者の親類等) が研修生を補佐するために、研修に参加した。研修内容には、栽培方法以外に、マーケティングや会計、在庫管理の仕方、障害に関する啓発についての講義も含ま</p>

	<p>れており、啓発については、障害当事者である LDPA 職員が、自身の実体験を交えつつ、障害者の権利について講義を行った。</p> <p>キノコ栽培については、まず試作品として研修中に 250 袋を作成し、研修終了後に本格的な栽培を開始するため、約 3,000 袋分の材料を研修生グループに提供した。尚、キノコ栽培は、ビニール袋 (500ml のペットボトル大) におがくずや栄養素を混ぜた培地を詰め、キノコ菌を植菌して行う。</p> <p>研修の詳細は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回キノコ栽培研修 (研修期間 : 5/28-6/1、受講者 7 名) ビエンチャン市 サイセッター郡 ノンサバン (Nong Savang) 村 7 月初旬に試作用の 250 袋分の収穫を、8 月下旬に本格的な栽培用に作成した 3,000 袋分の収穫を開始した。今後、収穫量は徐々に減少していくものの、3~6 ヶ月は収穫を続けられる見込みである。 ・第 2 回目の研修 (研修期間 : 7/23-7/26、受講者 12 名) ビエンチャン市 サイセッター郡 ホンスッパ (Honsouphab) 村 9 月初旬に試作用の 250 袋分の収穫を開始した。 <p>尚、収穫されたキノコは、地元の住人に直接販売していることもあり、売れ行きは順調である。研修終了後も、障害者が継続してキノコを収穫し、収穫高や売り上げを正確に記録して、平等に利益を配分できるよう、当会職員と LDPA 職員が定期的にモニタリングを行っている。</p>
(3) 達成された効果	<p>本事業で達成されるべき成果</p> <p><u>(イ) 障害者向け多機能センターの建設と施設整備と職員の能力強化</u></p> <p>障害者向け多機能センターは 10 月に完成する予定のため、同センターを活用した事業はまだ実施していない。同センターを使用して実施する予定であった上記職業訓練の一部については、村の集会所や役場を使用して実施した。また、同センターの開設に向けて、職業訓練の研修生選定のためにビエンチャン市内の障害者家庭を訪問した際、同センターについての説明や紹介を行った。</p> <p><u>(ロ) バリアフリー環境の普及</u></p> <p>バリアフリー工事を行う予定である 10 ヶ所の内、2 ヶ所の工事が完了した。全ての工事が終了する 10 月末以降に、利用者へのアンケートを実施する予定である。</p> <p><u>(ハ) 障害者への職業訓練の提供</u></p> <p>2 村 19 名の障害者がキノコ栽培研修を受講した。第 1 回目の研修で作成した 250 袋分のキノコの粗利益 (売上高から初期投資を差し引いた分) は 345,000 キープ (約 3,450 円) であった。今後、本格的な栽培用に作成した 3,000 袋分の収穫が始まる予定であり、障害者の収入の向上が見込まれる。</p>
(4) 今後の見通し	<p>工事期間と雨季が重なる時期があるため、障害者向け多機能センターの建設工事完了は 1 ヶ月程度遅れる見込みである。同センターの完成を待たなければならぬ活動も一部あるが、その他の活動についてはほぼ予定どおりに進捗しており、今後も計画に沿って事業を進めていく。</p>